

大豆の汚粒を低減させるコンバイン用受け網

軸流コンバインにおいて、脱穀部の受け網を回転軸と平行にパイプを配置したロール式とし、その隙間を適宜選択することで大豆の収穫における脱穀部での茎残留や脱穀部駆動トルクを軽減し青立ち株による汚粒を低減できる。2008年秋から汎用コンバインGC980(Y社)のオプションとして市販化され、2009年春からは大豆コンバインGS380(Y社)およびHC380(I社)に標準装備されている。



図1. 受け網と残留茎莢
(上:標準、下:ロール式)

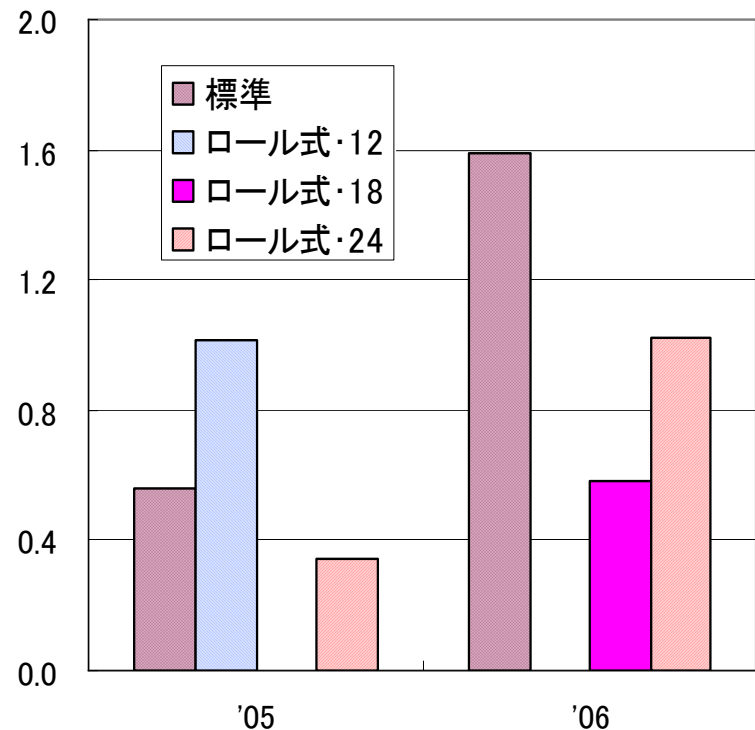


図2. 受け網による汚れ指数への影響(ロール式の数字は隙間mmを意味する)